

「伝統文化・人形浄瑠璃を通じた福島県への心の復興事業」報告

《事業趣旨》放射能被害により、いまだ復興が難しく多くの不安を抱え生活をする方々が多くいる福島県において、子どもたちや避難者の方々に対する心のケア、地域コミュニティの再生、地域活性化の一助となることを目的に、伝統文化である人形浄瑠璃を実際に体験する文化体験を通して、豊かな想像力や生きがいを育む文化的支援を行う。最終的には人形浄瑠璃公演の中で地元の方たちによる発表を行い、子どもからお年寄りまでが楽しむことができる世代間交流事業を実施し、地域におけるコミュニティの強化を図る。

《実施内容》子どもから大人まで参加できる、伝統人形芝居の文化体験（人形浄瑠璃ワークショップ）を実施する。特に、子どもたちの参加を促すアプローチを積極的に行い、地元の方々に向けての発表会の機会などを作ることで、世代間交流や仮設住宅利用者とその他の地域住民が交流できる場を提供し、地域コミュニティの強化を図る。公民館等で取り組む長期的な体験交流の場と、仮設住宅等で取り組む短期的な体験交流の場をつくり、より多くの地域の方々が参加できる仕組みとする。

【人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』①】（11～12月実施分報告）

- 1) 日 程 平成27年11月27日（金）～12月7日（月）
- 2) 場 所 長期的な体験交流として、川俣町では高校生以上を対象に、福島市では小学生以上を対象とした人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』の第一回目を実施。その他、短期的な体験交流として、川俣町1カ所、福島市内3カ所（小学校3校）でワークショップを実施。11月29日（日）には、川俣町にて開催された『川俣町女性大会』の中で、「文化活動による心の復興」と題しての講演と人形浄瑠璃の公演を実施。
- 3) 参加劇団 さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座（7名）、八王子車人形西川古柳座（1名）
- 4) 主 催 やまびこ座・こぐま座東日本大震災復興支援プロジェクト
公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
- 5) 共 催 福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館、hand to hand project kawamata
- 6) 実施記録

①短期体験

月/日（曜）	時 間	会 場	内 容	参加者数
11/28（土）	15：00	蔵カフェ「絹蔵」 伊達郡川俣町字鉄炮町 16-1	解説および三人遣い体験 ワークショップ	22名 （子2、 大人20）
11/29（日）	13：00	川俣町中央公民館 伊達郡川俣町字樋ノ口 11 番地	《川俣町女性大会》 講演「文化活動による心の復興」 人形浄瑠璃公演 「寿式三番叟」 「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」 体験ワークショップ	200名 （大人 200）
11/30（月）	10：20	三河台小学校 福島市三河南町 17-7	6年生対象／解説および三人遣い体験ワークショップ	78名 （子78）
12/1（火）	10：35	清明小学校 福島市清明町 9-31	5・6年生対象（各学年1回） 解説および三人遣い体験ワークショップ	55名 （子55）
	13：15	福島第四小学校 福島市天神町 11-31	全校生徒対象／解説および三人遣い体験ワークショップ	156名 （子156）

②長期体験／人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』

月/日(曜)	時間	会場	内容	参加者数
11/30(月)	19:00	川俣町中央公民館	『ふれアート』inかわまた 1回目	12名 (大人12)
12/1(火)	19:00	伊達郡川俣町字樋ノ口11番地	『ふれアート』inかわまた 2回目	12名 (大人12)
12/6(日)	10:00	福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ 福島市早稲町1番1号	『ふれアート』inふくしま 1回目	14名 (子14)

7) 写真で見る公演及び調査記録

①蔵カフェ「絹蔵」



- ▶川俣町にあるカフェで、地域の方々の憩いの場となっている。カフェスペースの他、町民ギャラリーや地元の野菜や特産品紹介コーナーなどがある。
- ▶町民ギャラリーの一角をお借りし、ワークショップを実施。とても近い距離感で観ていただくことができ、和やかな雰囲気であった。
- ▶このワークショップに参加した方が、人形浄瑠璃に興味を持ってくださり、川俣町中央公民館で開催の長期体験「ふれアート」にも参加していただくことができた。

②川俣町女性大会



- ▶女性大会の始めの挨拶の中で、「食の大切さを十分に把握する」という言葉があった。自分たちも同じように使う言葉であるが、福島では食物の放射線量のチェックを行うなど、我々が考える言葉の

意味合いとは全く違う重さをもっており、福島の現状を改めて考えさせられるお話であった。

▶講演会は、「文化活動による心の復興」をテーマに開催され、やまびこ座やこぐま座が震災後から続けてきた文化的活動を通じた支援事業を紹介することができ、たくさんの方に我々の活動、想いを伝えることができる貴重な場となった。

▶人形浄瑠璃公演と体験ワークショップでは、劇団による人形解説の後、参加者にも舞台上で人形を動かしてもらった。ワークショップに実際に参加してくれた方も、それを観ていた方もみんなの笑顔が溢れる時間となった。

▶この女性大会の参加者からも、長期体験への参加希望者がおり、実際に自分の目で見て人形に触れることで、より人形浄瑠璃の楽しさが伝わり、興味を引き出すことができたのではないかと思います。

③三河台小学校



▶6年生を対象としたワークショップを実施。とても元気で明るい子どもたちで、我々も元気をもらえる楽しい時間だった。人形解説などは集中して話を聞いてくれた。

▶実際に人形を遣った子どもたちはみんな生き生きとした表情であった。少しでも人形浄瑠璃の面白さが伝わっていることを願う。

④清明小学校



▶5年生と6年生を対象としたワークショップを各学年ごとに実施。学年によってリアクションも違い、初めて見る人形に戸惑い気味の子もいたが、実際に人形に触れると大いに盛り上がっていた。

⑤福島第四小学校



▶せっかくの機会だからということで、学校側からの要望で1年生から6年生までの全学年を対象にワークショップを実施。滅多に体験することのできない貴重な機会であると喜んでいただくことができた。

人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』in かわまた

①11/30 (月) <1回目>



➢ 事前に実施した短期体験ワークショップ（絹蔵、女性大会）に参加した方からも申込があり、気軽に多くの方が参加できるように、また活動を広く周知するためにと実施した短期体験ワークショップの効果が得られた。

➢ 参加の動機はさまざまであったが、なかなか体験できない貴重な機会であると楽しみにしてくれていた参加者も多かった。

➢ 慣れない人形の操作にはじめは四苦八苦していたが、和気あいあいとした良い雰囲気、楽しそうに参加していた。

②12/1 (火) <2回目>



➢ 前日に習った人形の基本的な操作方法を復習。

➢ せっかく川俣町で実施するのであれば、地元ならではの活動にしようと、川俣町の踊り「川俣音頭」にあわせて人形を遣い、発表を行うことになった。

➢ その地域ならではの活動を行うことで、親しみやすさを感じてもらい、地元で根付いた活動となり、地域の活性化につながっていくような取り組みに展開していきたい。

人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』in ぶんしま

①12/6 (日) 1回目



➢ 事前に小学校で実施した短期体験ワークショップに参加した子どもたちからも申込があり、気軽に多くの方が参加できるように、また活動を広く周知するためにと実施した短期体験ワークショップの効果が得られた。

➢ 初めて人形に触る子どもたちもいたが、みんな興味を持って積極的に参加してくれた。

➢ 発表会では「二人三番唄」「立ち回り」「さくらさくら」と3つの演目に取り組むことになったが、子どもたちの吸収は早く、発表会がとても楽しみである。